

# 体言

形式名詞

## ■ 形式名詞とは

- 名詞としての実質的な意味をもたず、形式的・補助的な役割で用いられる普通名詞である。
  - 事が起った。(事 具有实质意义)
  - 私は日本語を話すことができる。(こと不具备实质意义)
  - 所変われば品変わる。(所 具有实质意义)
  - あなたの言うところは正しい。(ところ不具备实质意义)
  - 秋は勉強するのにいい時です。(の不具备实质意义)

常用

つもり

わけ

うち

とおり

もと

まま

うえ

ため

かわり

はず

こと

ところ

の

しだい

ほう

かぎり

くせ

もの

## ある物事に関連する事柄。

- 言うことはやさしいが、行うことはむずかしい。
- 旅行のことはもう話すのをやめよう。

## ある人物が動作・心情の対象であることを示す。

- 彼は彼女のことが好きらしい。
- 私のことをほめてくれた。

アイツのこと、好きやつて。



気付いてもらった。

## 行為。仕業。

- 自分のしたことを反省しなさい。
- 今日はいいことをした。

## 言葉の内容。言葉の意味。

- 彼の言ったことを聞いたか。
- 彼女は私の言うことがよく分からないらしい。

## のことだ VS ということだ VS ことだ

1. (「…のことをいう」「…のことだ」などの形で) 言葉が何かをさしていることを示す。
  - タイガーとはトラのことをいう。
  - 今の話の某氏というのは遠藤さんのことだ。
2. 「…ということだ」。うわさ。伝聞。
  - 彼は来年留学するということだ。
3. 「…ことだ」「…ことが大事だ」の意を表す。
  - 合格したかったら勉強することだ。
  - 風邪気味の時は早く寝ることだ。

大切なのは、  
問うことも  
やめな  
ことだ。

by アルバート・アインシュタイン

## ことには VS ないことに

1. ことには＝可同一用言重叠中间加“ことには”可起到调整语气的作用，表示“诚然…但……”、“固然…但……”等意思
  - 習うことには習ったが、覚えられなかった。
2. ことには＝表示强调的语气
  - 残念なことには，私はほかに約束があるので、お伺いすることはできません。
3. ないことに＝表示“不…就…”的意思
  - 自分でやってみないことにはわからない。

## ことにする VS ことになる たことにする VS ことにしている

1. (「…ことにする」の形で)「…という方針を決める(決心をする)」の意を表す。
  - いろいろ比べてみて、この字引きを買うことにした。
2. (「…ことになる」の形で)そういう成り行き・結果になる。。
  - 黙っていたということは、認めたことになる。
  - 学校のプールは六月一日から始まることになっている。
3. (「…たことにする」の形で)必要。
  - この話は聞かなかつたことにしよう。
4. (「…ことにしている」の形で)習慣。しきたり。
  - 朝は六時に起きることにしている。



## たことがある VS ことがある ことがない VS ことはない

1. (「…たことがある(ない)」の形で)経験。体験。

- 外国へ行ったことがある。
- それについて深く考えたことがない。

2. (「…ことがある(ない)」の形で)場合を表す。

- 夏でも高山では蝶を見ることがある。
- 近ごろ郊外でも蛍を見ることがない。

3. (「…ことはない」の形で)必要。

- 何も急ぐことはない。
- 彼に同情することはない。



こと

# たことがある VS ことがある ことがない VS ことはない



## 終助詞の「こと」 VS 副詞化の「こと」

### 1. ( 終助 ) 「形式名詞「こと」から出たもの」。

- まあ、きれいな花ですこと。
- 図書館から借りた本は一週間以内に返すこと。

### 2. 形容詞の連体形に付いて、副詞化する。

- 早いこと、やってしまえ。
- 長いこと留守にする。
- うまいことやれよ。

## 「…ものだ(である)」などの形で

### 普遍的な傾向

どんな人もお世辞には弱いものだ。

虹は太陽の反対側に出るものだ。

### なすべきこと

そんな時は何も聞かずにいてあげるものだ。

大人の言うことは聞くものだ。

### 過去にしばしば起こったこと

二人でよく遊んだものだ。

昔はよく映画を見に行ったものだけど、最近は全然行かないな。

### 感動・詠嘆を表す

あの難関をよくぐり抜けたものだ。

月日のたつのははやいものだ。

## 「…ものか」「…ものではない」などの形で

### ◆ 否定を強調する。

- そんなことがあるものか。
- 君にはそんなことができるものか。
- 何をするかわかったものではない。

## 「…ものと思われる」などの形で

### ◆ 判断を強調する。

- 彼はもう帰ったものと思われる
- あきらめたものとみえて、その後何も言ってこない。
- あの人のやったことには目にあまるものがある。
- 月日のたつのははやいものだ。

→ 程度がひどくて黙って見て  
いられないほどである。

## 「もの」: 接続助詞または接続助詞の一部

### ◆ 活用語の終止形に付く。

- この頃はまったく雨が降らないんだもの，川がかれるわけだよ
- 僕だって知らないもの，君が知っているはずがない。
- 昨夜おそくまで起きていたもので，朝寝坊してしまった。
- 私に黙って勝手なことをしようものなら，決して許しませんよ。
- 契約は結んだものの，果して実行できるか心細い。
- そんなに上手に歌えるものを，なぜ歌わなかったのですか。



# もの・もので・ものだから的用法

もの・もので  
・ものだから

(一) もの  
もの表示确定顺接条件，多用于口语，  
强调原因，后项一般是既成事实。

- 子供だもの、仕方がないさ。
- あんなにきれいだもの、皆に好かれるわ。
- 勉強しなかったんだもの、合格するはずはない。
- 長い将来ですもの、きっと後悔すると思いますわ。

(二) もので  
もの表示确定顺接条件，多用于解释，  
说明（甚至辩白）产生某项结果的原因，  
有比ので语气强烈的感觉，后项是既成事实

- 昨夜おそくまで起きていたもので、あさねぼうしてしまいました。
- あまり天気がいいもので、どこかへ出かけだくなった。
- ついそがしかったもんで、お電話するのを忘れてしまいました。
- 道がこんでいたもので、遅れてしまいました。

(三) ものだから、ものですから  
ものだ（です）から和もので的意义相同，  
但是比もので更强调主观认定的原因。

- 雨がひどいものだから、どうしても出られない。
- つい疲れてうたたねをしていたものですから、  
かぜをひいてしまいました。
- あのかたは旅行家だものだから、  
いろいろめずらしいお話をなさいます。

# ものなら的用法

## ものなら

（一）接在推量助动词う、よう后面，  
表示假定顺接条件，  
意义相当于汉语的“假如……就(不得了啦)”、  
“万一……就……”等等。

- そんなことをしようものなら、たいへんだ。
- 失敗しようものなら、大目玉を食う。
- 手術がもうすこし遅れようものなら、命を落としていたろう。
- うそをつこうものなら、二度と口をきかないぞ。

（二）接在表示可能的动词、助动词后面，  
表示假定顺接条件，  
相当于汉语的“如果能……的话，那就……吧”

- ひとりで行けるものなら、行ってみなさい。
- できるものなら、やってみなさい。
- これくらいの練習で彼に勝てるものなら、勝ってほしいね。
- そんなにたくさん食べられるものなら、食べてごらん。
- そんなことでいいものなら、だれも心配はしないよ。

通常是假设一个未确定的事项，  
而后项一般是消极的或否定的

通常是假设一个不大可能  
实现的事项

# ものの・ものを的用法

## ものの・ものを

ものの只表示确定逆接条件，  
意为“虽说……可是……。”

- そうはいうものの、なかなかそう簡単にはいきませんよ。
- 答えを教えてあげると純束ばしたものの、実はぼくにもよく分らないでこまっている。
- 苦しいことは苦しいものの、また楽しいこともある。
- そうはおっしゃいますものの、わざわざここへいらっしゃることはごさいますまい。
- 私の前だからいいようなものの、人の前で言ったらなぐられるぞ。
- からだがよわい、よわいとはいうものの、まだ病気で学校を休んだことはない。

ものを只表示确定逆接条件，  
与のに的用法相似，含有遗憾、不平、不满等语气。

- そんなに上手に歌えるものを、なぜ歌わなかったのですか。
- 子供達があんなに見たがっているものを、見せてやらないなんてかわいそうだ。
- ちょっと気をつければいいものを、不注意だからけがをするのですよ。
- 言いたいことがあれば、言えばよさそうなものを、どうして言わないだろう。
- 汽車がおくれなければ、母の死に目に間に合ったものを、残念なことをした。

承认前项是事实，但后项却是与  
前项不相符的事实



## 「もの」: 終助詞

- ◆ 不満・うらみ・あまえ・訴えなどの気持ちを込めて、理由を述べる。「だもの・ですもの」の形をとることが多い。
  - だって、仕方がないんですもの。
  - どうしてもぼく行きたいもの。
  - いっしょに行ってくれない？ 一人で行くのはこわいもの。
- ◆ (「ものね」「ものな」などの形で) 理由を表す。「ね」「な」などによって、軽い詠嘆の意が加わる。
  - なるほど、それはきみの専門だものな。
  - よくわかりでしょう。前に行ったことがありますものね。



# 比較

ものだ

VS

ことだ

## ものだ

- 自然の傾向、社会的慣習、常識、習性などをふまえた感想を述べることが多い。
- 過去から現在までの時の流れを意識した上で現在の状態を詠嘆的にとらえる「…したものだ」の用法がある。
- 「よく(も)…ものだ」の形で、意外性を強めることが多い。

- (1)三、四年前から見ると、私もずいぶん健康になった**ものだ**。
- (2)へえー、ひどい先生もいた**もんだ**！
- (3)もう離婚しちゃったなんて、夫婦の仲ってわからない**ものです**ね。

## ことだ

- 話し手の個人的な感想が自由に述べられている。
- 現時点しか意識しない詠嘆になっている。
- 「何て…ことだ」の形で強調することが多い。

- (1)遊んで暮らせるなんて、うらやましい**ことです**。
- (2)我ながら何て情けない**ことだ**！

## ものだ or ことだ

- ①あの人のがままにも困ったことだ。  
②子供というのは世話のやけるものだ。  
③うちの夫ときたら世話のやけることだ。  
④カエルなんてよく平気で食べられるものだ。  
⑤早く風邪を治すには、まずゆっくり寝ることだ。

## 抽象的な事柄についての位置や場面など。

は すぐ怒るやつ  
馬鹿だ

1. 抽象的な箇所を表す。点。部分。
  - 小説のおもしろいところだけ話す。
  - それがこの芝居のおもしろいところです。
  - あなたの悪いところはすぐ怒ることです。
2. そこに示されている内容のことであることを表す。…すること。…であること。
  - 自分の信ずるところを述べる。
  - 聞くところによると、今度新しい辞典が出るそうだが
3. 特定の状況における事態を表す。場合。
  - 普通の人間なら当然怒り出すところだ。
  - こちらからお詫びをするところです。



## 抽象的な事柄についての位置や場面など。

### 4. 時間の流れの中のある部分を漠然とさす。場面。段階。

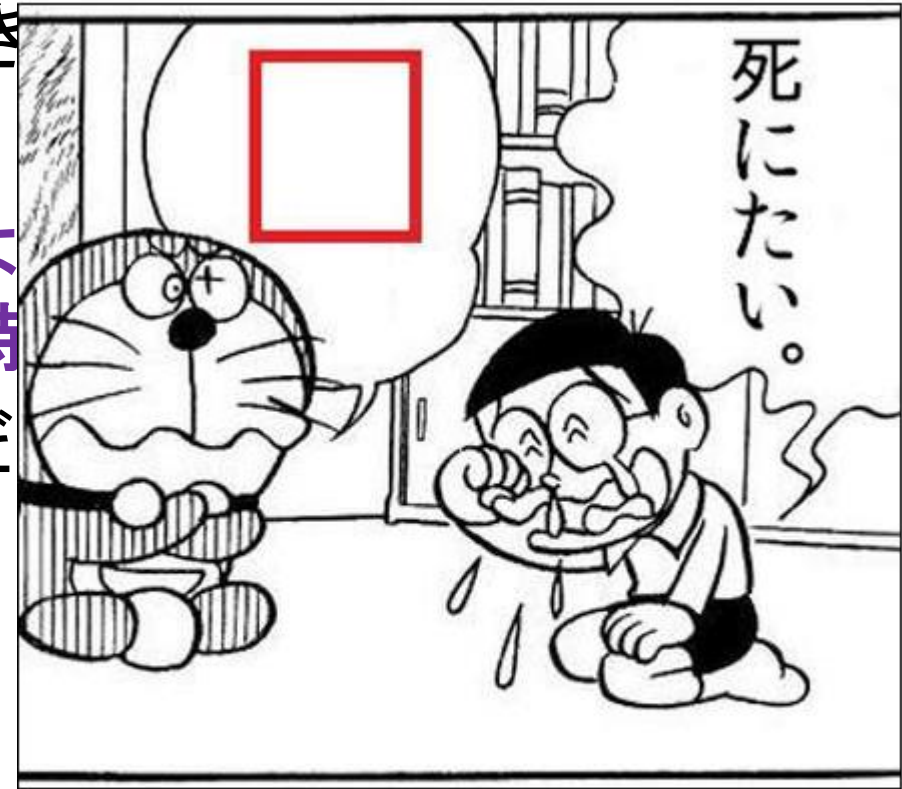
- 今日のところはこの程度にしておき
- いいところに来たね。

### 5. ちょうど何かをしようとする,あるいは状況であることを表す。ちょうどその時

- 説明が済んだところで質問してくだ
- いま帰って来たところだ。
- もうすぐ式が始まるところだ。

### 6. 程度を表す。

- 中ぐらいのところで卒業した。
- 千円がところ損をした。



君にもいいところが……いいところ  
ろが…

抽象的な箇所

## ところとなる

### ◆ ある事物を取り上げる。

- 彼の行いは果して皆の非難するところとなった。
- 人の賞するところとなる。

## たところ・どころか

### ◆ 「…の場合」の意から転じて) 接続助詞的に用いる。

- 先生にうかがったところ, 先生にもわからないとおっしゃった。
- 会に遅れたと思って急いで行ってみたところが, まだ誰も来ていなかった。
- もうこれ以上話しあったところで無駄だよ。
- 昨日は雨が降るどころか, 雲一つないいい天気でした。



## 準体助詞

- ① 名詞に付いて、「のもの」の意を表す。
  - ぼく**の**がない。
  - こっち**の**がいい。
- ② 活用語の連体形に付いて、その活用語を体言と同じ資格にする。
  - リンゴは赤い**の**がいい。
  - 行く**の**はだれだ。
- ③ (「**のだ**」「**のです**」「**のだろう**」などの形で)確信的な断定・推定を表す。
  - ついに失敗した**の**である。
  - 君がやった**のだ**。

1. なぜそういう状態になったかという理由。その事柄が成立する根拠。

- わけもなく泣けてくる。
- いつもおとなしいあの人が怒っているのだから、何かわけがあるに違いない。



2. そういう結果に至ったいきさつ。事の次第。

- 苦しいわけです。熱が四十度もあるのですから。
- そんなわけで今はこちらにいる

3. 言葉の意味。内容。

- わけもわからずに暗唱する。
- 諺のわけを調べる。



## わけがない わけはない

### ① たやすい。容易だ。

- ・ 予選の通過はわけがない。
- ・ これくらいはわけもないことだ。

### ② 理由がない。筋が通らない。

- ・ こんな時間に来るわけがない。
- ・ 帝国主義の本性は変わるわけはない。

## というわけだ

◆ ある事の結果として、当然そうなるはずであること。また、あらかじめそうなるように仕組んだこと。。

- ・ すると、学校にはこういう規則があるというわけだね。
- ・ 言い換えればあの男と付き合うというわけだね。

やてやれない  
ことはない。  
やらずに  
できる  
わけがない！

## わけではない VS わけにはいかない

(「わけではない」「わけにはいかない」などの言い方で)物事・状態を, それに含まれている理由・事情などをも含めて漠然とさす。…ということ。

◆ **わけではない**: 理由や心境などについて、そうではないと否定する表現。

- 絶対に嫌だというわけではない。
- くれるわけではなく、ただ中身を見せてくる。

◆ **わけにはいかない**: 理由・事情による不可能の意味を表す。

- 多忙で, とても引き受けるわけにはいかない。
- 休むわけにはいかない。
- 供

## わけではない VS わけにはいかない



**いや、私は怒っているわけでは無い。ただUSJに行った感想を聞いているだけだ。**



**くれるわけでもなく、ただ中身を見せてくる**

## わけではない VS わけにはいかない



「手ぶらで帰らせるわけにはい  
かない」と言ってから、毎日北島が  
来る



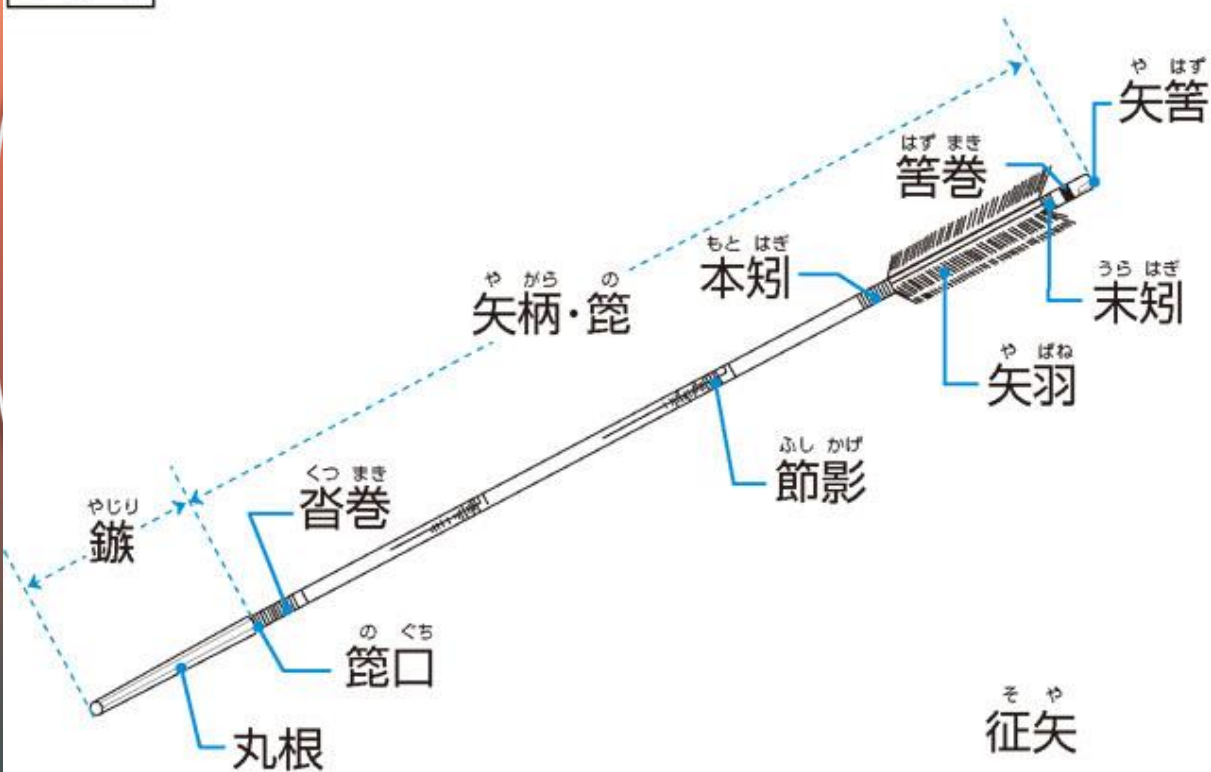
あす しけん  
明日は試験だ  
べんきょう  
勉強しないわけにはいかない



はず

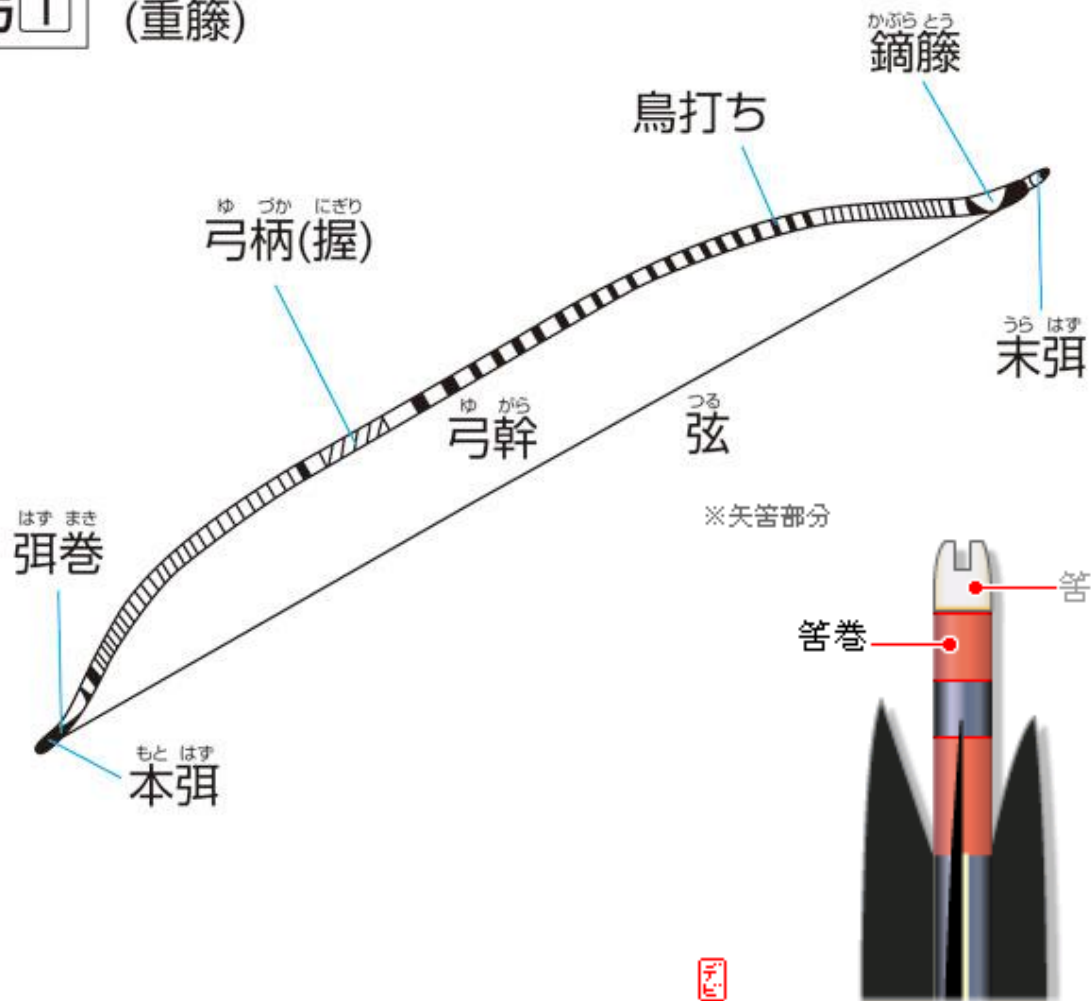
(矢の筈は、弓の弦と当然合致するということから)  
連体修飾語を受けて、形式名詞的に用いられる。

矢①



弓①

(重藤)



# はず

## ① 当然そうなることの意を表す。

- これで電気がつくはずだ。
- この地図を見ればわかるはずだ。

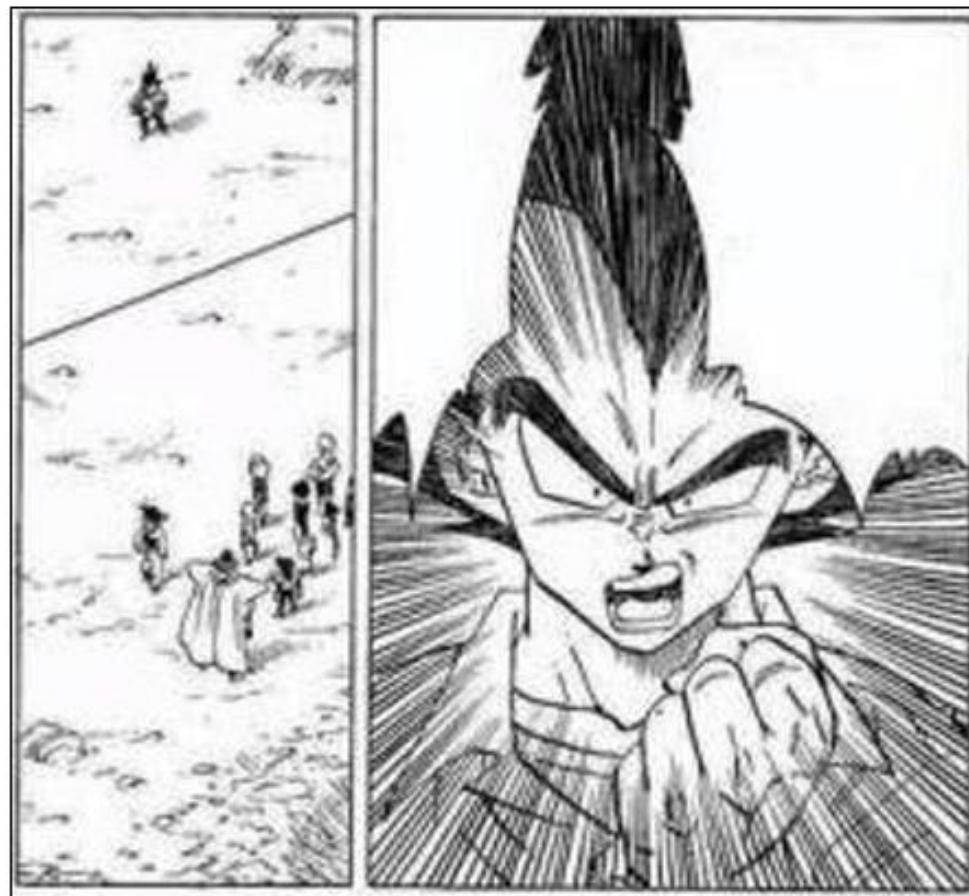
## ② これからの事柄についてその予定を表す。

- 五時に終わるはずだ。
- 今晚、田中が演説をするはずになっている。

## ③ 不審な物事や納得のいかない事柄を、何らかの事情を根拠にして納得する意を表す。

- 寒いはずだ、窓が開いている。
- 今までそこにあったのだから、探してごらんなさい。あるはずですよ。
- そんなことを小さな子どもに言って聞かせても、わかるはずはない。

はず



**小野妹子という名前からして男の  
はずがない！ 正解は×だ！**

# はず

① (「たはずだ」の形で) 事柄についての確信・確認の意を表す。その確信していた事柄と事実とが違っていることを不信に思う気持ちを込めていう。

- 君に頼んだはずだ。
- 確かあなたもそう言ったはずだ。

② [「…はずではなかった(のに)」などの形で、予想と反する結果になったことを、落胆の気持ちを込めていう場合に用いる。

- こんな結果に終わるはずではなかったのに。
- 彼は、風邪で寝ているはずじゃなかったの？
- 「結婚詐欺～っ！」こんなはずじゃなかった、  
日本へ嫁いだ上海女性、故郷へ逃げ帰る—中国



比較

わけ

VS

はず

① わけ作为具有实质意义的名词使用，表示事物的道理，情况，原由，意思等，はず没有这种意义。

- わけの分らない人だ。(はず×)
- そういうわけなら，考えなおさなければならない。(はず×)
- どういうわけか田中さんは私をきらっている(はず×)
- ことばのわけを字引きで調べる。(はず×)
- そんなことはわけはありません. すぐやります. (はず×)
- 今日はいつもとわけがちがう。(はず×)

比較

わけ

VS

はず

② わけ作形式体言用，用于说明，解释某种情形，事情的原委，意为“是这么回事”、“是这么一种道理”。はず不能替换。

- すると，学校にはこういう規則があるというわけだね。（はず×）
- あの瓶，40錠入りで約半分残っていますから，ほぼ20錠ぐらい飲んだわけです。（はず×）
- やっと今度宿望がかなったわけです。（はず×）
- 私は魚がきらいというわけではないが，豚肉の方をよく食べるのです。（はず×）

比較

わけ

VS

はず

③ わけ表示当然，合乎情理的结果，事情，基本上可以与はず替换，主要是从讲道理的角度说话。

- 日本語を三年もやったから，話せるわけだ（はず○）
- 昨日買ったばかりの服だから，まだ新しいわけだ。（はず○）
- 苦しいわけです．熱が40度もあるのだから。（はず○）
- 彼は病気で寝ているんだから、来ないわけだ。（はず○）
- 狼の本性は変わるわけはない。（はず○）
- 会議があるのだから，いかないわけにはいかない。（はずX）

比較  
わけ  
VS  
はず

① 表示讲话人根据某种前提（可以是事实存在的前提，也可以是假设的前提）得出的理所当然的结论（不管是否有既成事实），主要是从**推测，判断，断定**的角度说话。有些地方可以和わけ替换使用，但意义有所不同。

- 通知してあるから，知っているはずだ。（わけ○）
- 三年も日本語をやったのだから、話せるはずだ。（わけ○）
- そんなことは子供に言って聞かせても分るはずはない。（わけ○）

◆ 只有表示所谓“理所当然”的意义的情况下才可以相互替换。

比較

わけ

VS

はず

② 如果前提是**假设**的时候不可以用わけ替换；结论完全事推测的，甚至句子里带有“たぶん”、“きっと”之类的副词，不可以用わけ替换。

- いままでそこにあったのだから，さがしてごらん。（きっと）そこにあるはずだよ。（わけx）
- 今日たぶん来ないはずだ。というのは，彼は病気で寝ているのだから。（わけx）
- あの人の帽子なら，もっと大きいはずだ。（わけx）

比較

わけ

VS

はず

③ はず表示**予定**，**预计**。不可以用わけ替换。

- 汽車は十時に出るはずです。(わけ×)
- 一時に来るはずの友だちがまだ来ない。(わけ×)
- 私のいところはもう大学を卒業したはずだ。(わけ×)
- こんなはずではなかった。(わけ×)



わけ×

こんなはずじゃなかった

比較

わけ

VS

はず

④ 表示**确信**，一般用 “...・たはず（だ）”  
的形式，不可以用わけ替换。

- たしかあなたもそう言ったたはずだ。（わけ×）
- ポケットに入れておいたはずのかぎがみつからない。（わけ×）
- 知ってたはずだろう。僕がくだらないジョークがきらいだったことさ。（わけ×）



隣のベランダ。確か男が住んでた  
はずだが、、、

わけ×

# 比較

わけ

VS

はず

わけ

はず

在既成事实的基础上，解释和说明某种道理和原因

根据某项事实或假设的前提，得出理所当然的结论

「田中さんはどうしてわれわれの決議を知らなかったのですか。」「彼は来なかったから、われわれの決議を知らなかったわけです。」（はず×）  
解释“他为什么不知道”

「彼はわれわれの決議を知っていますか。」「いや、彼は来なかったから、知らないはずだ。」（わけ×）  
判断他“知道还是不知道”，

苦しいわけだ。熱が四十度もあるのだから。  
怪不得这么痛苦，

苦しいはずだ。熱が四十度もあるのだから。  
当然（肯定）是痛苦的

狼の本性は変わるわけではない。  
意为“从道理上来说狼的本性事不可能改变”。

狼の本性は変わるはずはない。  
意为“狼的本性肯定是不会改变的。”

三年も日本語を勉強したから、話せるわけだ。  
意为“学了三年日语，所以会讲日语。”

三年も日本語を勉強したから、話せるはずだ。  
意为“学了三年日语，当然会讲日语”，或“学了三年日语，（我相信）他肯定会讲日语”。



## わけだ or はずだ

## わけだ

- ①道理で寒いはずだ。外は吹雪だもの。
- ②長年教えてきたわけだが、こんな生徒は初めてだ。
- ③確かにきのうそこに置いたんだからあるはずだ。
- ④変だな。彼はもっと長身のはずだ。
- ⑤あなたたちだっていずれは年を取るわけだから、年寄り  
は大事にすべきだ。
- ⑥彼の帽子なら、もっと大きいはずだ。
- ⑦今日はたぶん来ないはずだ。というのは、彼女は病気で  
寝ているのだから。

助詞「の」「が」を介在させて体言と、あるいは用言の連体形に接続して用いる。  
助詞「に」を伴うこともある。

## ① (実質名詞)役に立つこと。利益になること。

- 君のためを思っているのだ。
- これは子供のためになる本です。

## ② その物事が理由・原因であることを表すのに用いる。ゆえ。

- 事故があったために遅刻する。
- 友だちが尋ねてきたため、約束の時間に遅れしまった。

## ③ その物事を目的とすることを表すのに用いる。

- 合格するために大いに勉強する。
- 入学試験のために、夜おそくまで勉強している。

ため

助詞「の」「が」を介在させて体言と、あるいは用言の連体形に接続して用いる。  
助詞「に」を伴うこともある。



**俺「お前のためにチームがあるん  
じゃねえ。チームのためにお前が  
いるんだ！」**

## 動詞「積もる」の連用形から

① 前もって考えていること。また、そうしようと思っていること。意図。

- うそを言うつもりはなかった。
- 買うつもりはなかったが、すすめられて買ってしまった。
- 自分では正しいつもりでも、ほかの人からみれば、まちがっていることもある。

② あらかじめ計算すること。見積もり。

- 出発前のつもりでは二、三万円ですむはずだった。
- 君のつもりでは、どれほど費用がかかるか。

③ 実際はそうではないが、そうなっているような気持ち。

- 買ったつもりで貯金する。
- 映画をみたつもりで貯金することになりました。

つもり

動詞「積もる」の連用形から



**あと5分で起きるつもりで二度寝  
をしてしまい、目覚めた瞬間に遅  
刻を確信した**



# ほう

[名・形動]方角。方向。方位。方面。部門。分野。方法。手段。

① 対立的に存在するものの一方

- こちらのほうこそお世話に
- 相手のほうから苦情が出た

② 二者を取り上げて比較した時

- 兄より弟のほうが背が高い
- 医者に見てもらったほうが

③ どちらかと言うと、そういう性

- 彼は親切的なほうだ。
- 私は寝つきがよいほうだ。

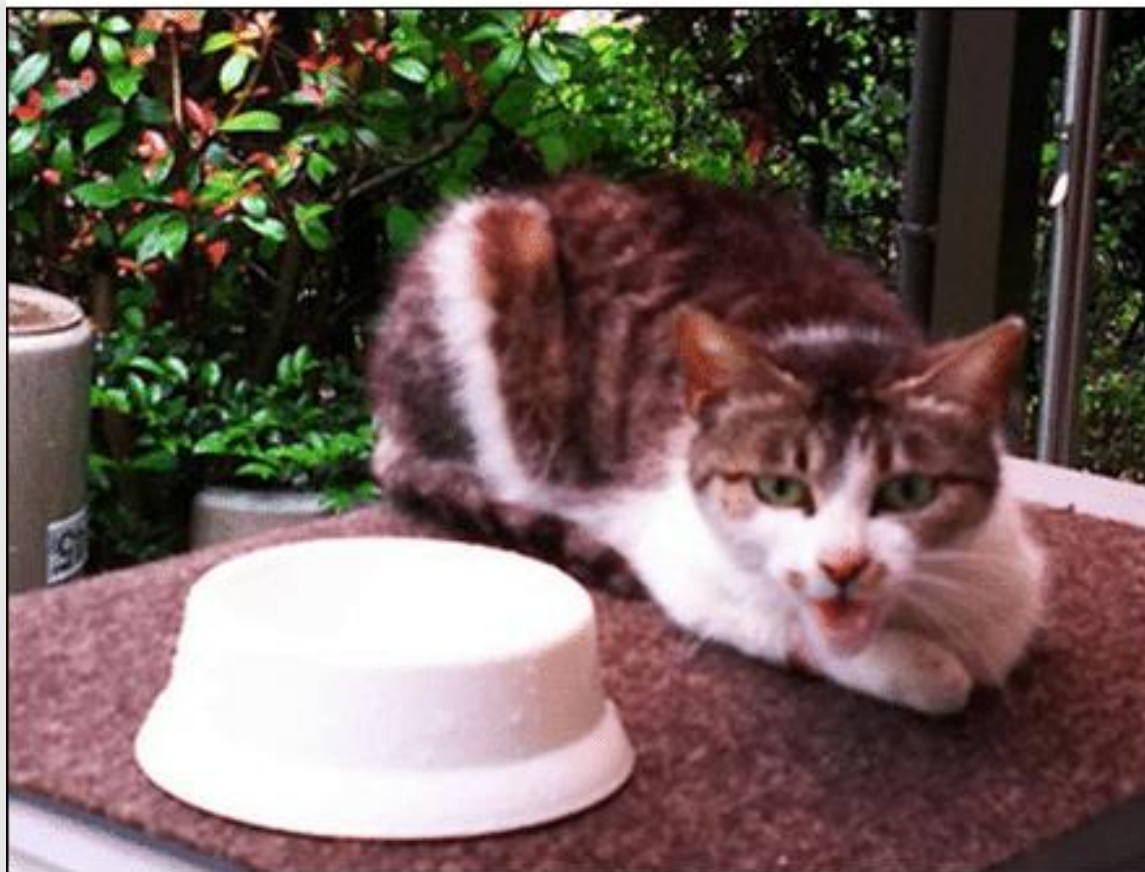


私をあまり怒らせないほうがいいぞ



ほう

[名・形動]方角。方向。方位。方面。部門。分野。方法。手段。



**私をあまり怒らせないほうがいいぞ**

# まま

① 元のとおりで、変えてないこと。そっくりであること。

- 昔のままで少しも変わらない。
- そのままでいいです。

② 成り行きに従うこと。他のものに任せ従うこと。

- 誘われるまま，ついて来た。
- 足の向くままに歩いた。

③ 思いどおりであること。

- ままにならない世の中。
- 自分の意のままに行く。

④ 状態が続いていること。

- 机に向かったまま，何もしないでぼんやりしていた。



のび太のわがまま=どら焼き10  
個

# とおり

## ◆ それと同じ状態・方法であること。そのままであること。

- 言われたとおりに実行する。
- 設計図のとおりに作る。



思ったとおり、脳みそ少ないで  
すねえ



先生に言われたとおり今日言われ  
たことを全部忘れよう



# うえ

- ① (「…上で(は)」の形で)…という観点からは。…の面では。
  - 理論のうえではそうだが、実際はどうか。
  - 仕事のうえでは、別に問題はない。
- ② (「…上(で)」の形で)…したのち。…の結果として。
  - 十分調査したうえで御返事します。
  - お目にかかったうえで、きめましょう。
- ③ (「…上は」の形で)…である以上は。…であるからには。
  - 事実がそうであったうえは、仕方がない。
- ④ (「…上(に)」の形で)…に加えて。…であるところにさらに。
  - 御馳走になったうえ、おみやげまでもらった。
  - 値段が安いうえに、品が優れている。

うえ



ぢがきたないうえにひらがなだら  
けでかいどくにじかんがかかる

# うち

## ① 時間的に設定されたある範囲の内部。あいだ。

- 朝のうちに仕事をすませる。
- ぐずぐずしているうちに日が暮れてしまった。
- 二,三日のうちにお訪ねします。
- 暗くならないうちに帰りましょう

## ② 具体的な事物についてある範囲を限定し, その範囲内で事が考えられるべきことを表す語。なか。

- メンバーのうちのだれかを代表に指名して下さい。
- 三人のうちで誰が一番年長です。



うち



**きれいなジャイアン「逃げろ、俺  
の理性が残っているうちに!」**

# もと

## ① 物のした。物のしたのあたり。また、物のしたの部分。

- 花のもとに
- 自由の旗の

## ② ある人のいる

- 親のもとを
- 先生の指導

## ③ (「…のもとに」 条件または根

- 国益の名の
- 一か月とい

- 科学技術委員会の主催のもとに工業の新製品の品評会が行われた。



今日も正義の名のもとに街壊す  
ぞー

を

もと



今日も正義の名のもとに街壊す  
ぞー



# かぎり

## ① その範囲のうち。だけ。

- できるかぎりのことはした。
- ストライキが続くかぎり会社では仕事できません。

## ② あるだけ全部。

- 声をかぎりに叫ぶ。
- 見渡すかぎりの原野
- あらんかぎりの力を出して抵抗した。

## ③ その内容を限定する。

- 考えを改めないかぎり許さない。
- 病気でないかぎり学校をやすまない。



で？この贅の限りを尽くした接待  
の代わりに去勢に応じてくれと、  
こういうわけか？

# かわり

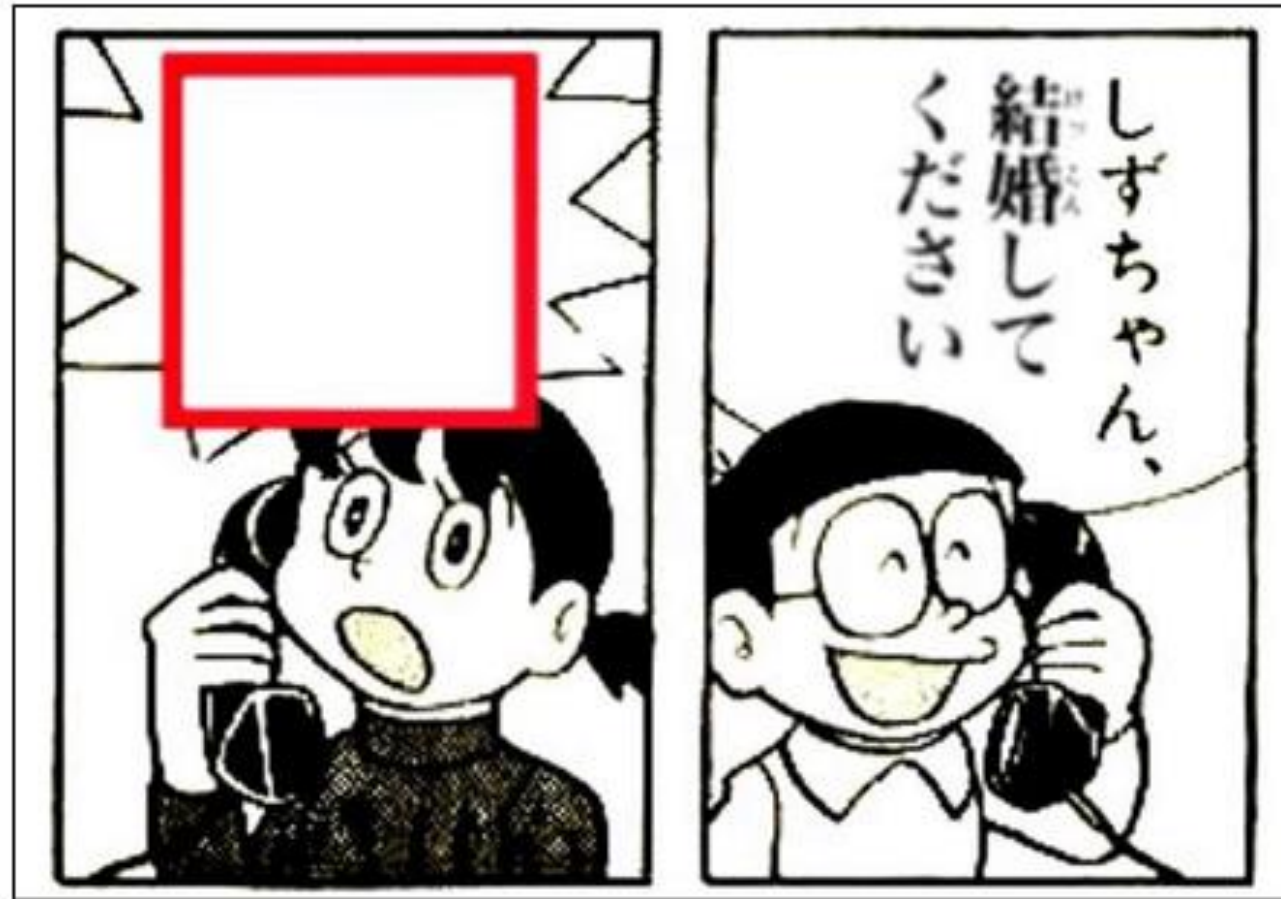
① 他の人や物の代理をすること。また、その人や物。

- 父のかわりを無事に果たす。
- きょうは母のかわりにごあいさつにうかがいました。

② (「…かわりに」「…のかわり」の形で接続助詞的に用いて)  
…にひきかえて。…に見合って。

- おやつを上げるかわりにお使いに行って来て。
- 失敗もないかわりに, 大きな成功もない
- あまり頑丈でもないかわりに大病もしたことがない。
- 英語を教えてもらうかわりに日本語を教えてあげましょう。

かわり



いいわよ!そのかわりタヌキのポ  
ケットは共有物ね!



# しだい

① 現在に至るまでに、物事がたどった道筋。事情。いきさつ。。

- 事のしだいはこうということです。

② (接尾)名詞に付いて、その人の意向、またはその事物の事情いかによるとい意を表す。

- どうするかはあなたしだいだ。
- すべては、君の決心しだいです。

③ (接尾)動詞の連用形に付き、動作が行われるままにとい意を表す。

- 手当たりしだいに投げつける。

④ (接尾)動詞の連用形または動作性の名詞に付いて、その動作に続いてすぐとい意を表す

- 送金しだい現物を送る。
- できしだい、おとどけいたします。

しだい

## SAISON FACTORY

ご好評につき、ご用意ができ次第  
順次発送致します。



## くせ

- ◆ そうでありながら。普通、**人の属性**についていう場合に用いられる。
  - 彼は寒がりだ。そのくせ、コートは着たがらない。
- ◆ 文中にあって、接続助詞的に用いられる場合。**非難したり責めなじったりする**気持ちを込めて、逆接条件を表す。…にもかかわらず。…のに。
  - 大した金もないくせに、大きなことを言うな
  - あなたは知っているくせに、私に教えてくれないのですね。
  - 学生のくせに学校へも行かないで、遊んでばかりいる。。

くせ



**ハゲのくせに頑張る奴をバカにする人を俺は許さない**